

## 環境目標（3）環境負荷の少ない自立・循環型のまちづくり

### ～省エネルギー・資源リサイクルの推進～

わたしたちは、大量生産・大量消費・大量廃棄により自然環境に負荷を与えてきました。良好な環境を保つには、ゼロエミッションを基調とした資源やエネルギーの有効利用を進め、環境負荷を低減する必要があります。そして、他地域への影響と依存の少ないまちづくりに取り組むことが求められています。

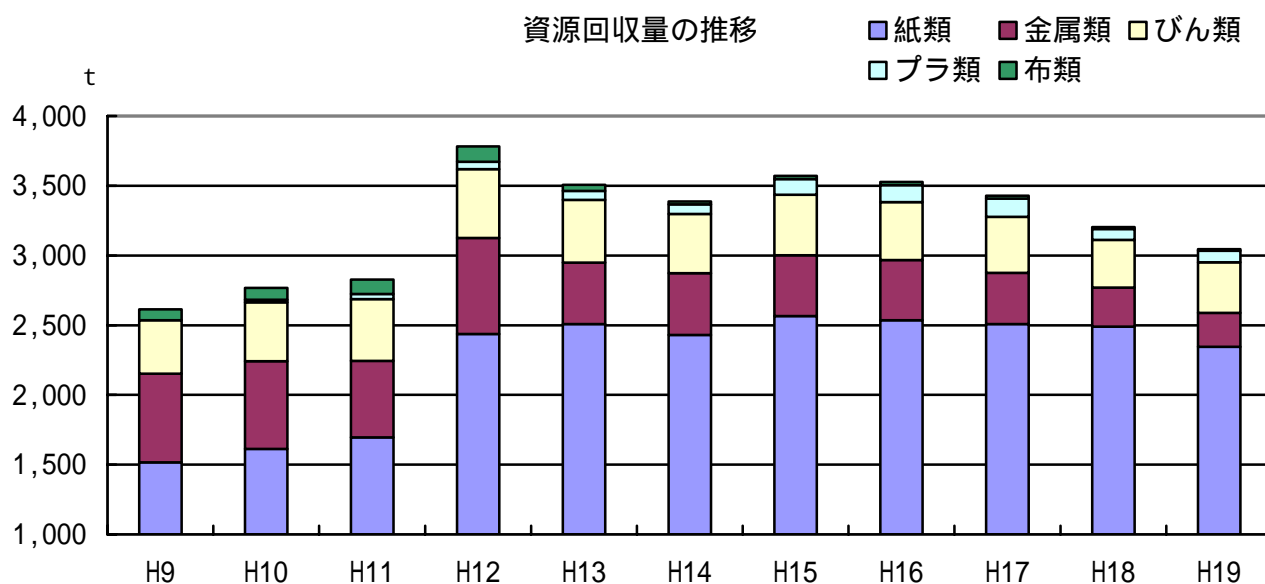
こうしたことから、さわやかな空気と星空・静けさ・きれいな水辺・安全でおいしい水を将来の世代に引き継ぐ環境負荷の少ない自立・循環型のまちづくりを進めます。

### ～現況～

## 3 Rの推進

### 資源回収（環境課）

本市では、毎月1回各行政区において資源回収を行っています。区の公民館や集会場等を会場とし、家庭で分別したものを種類ごとに排出します。区長、生活環境委員を中心に区民が区民の分別指導に当たるなど、円滑に資源回収が行えるよう工夫しながら取り組んでいます。



平成17年度以前の資源回収実績は旧新城市、旧鳳来町、旧作手村の実績合計。

## しんしろエコショップ認定制度（環境課）

しんしろエコショップ認定制度は、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを自主的に実施する販売店に対し、市が市民とともに審査認定し、また、こうした事業所の取り組みを市民が評価・利用することにより、行政・事業所・市民が協働で市全体のごみの減量並びに限りある資源の保護等に努めることに対する意識の高揚を図ることを目的とした制度です。認定を受けた販売店は「しんしろエコショップ認定シール」の交付と販売店の取り組みなどを市のホームページや広報で紹介をします。

認定審査は、公募市民による「しんしろエコショップ認定審査員」4名の方（平成19年度末時点）が、認定販売店の現地審査や認定会議により行います。

### 【しんしろエコショップ認定の評価】

- ・ R R R（トリプルアール）... 3Rの取り組み全てを実施している販売店。
- ・ R R（ダブルアール）... 3Rのうち2種類の取り組みを実施している販売店。
- ・ R（シングルアール）... 3Rのうち1種類の取り組みを実施している販売店。

### 【しんしろエコショップ認定販売店】（平成19年度末現在）

	販売店名	行政区	業種	認定種類	認定日
1	織田商店	有海	酒類販売	R	H18.1.26
2	新城無線	栄町	家電販売	R R	〃
3	岡田屋電機商会	新城中町	家電販売	R	H18.2.9
4	マルブン	栄町	衣料品販売	R R	〃
5	ユニー新城店	的場	小売百貨	R R R	〃
6	日野屋商店	本町	酒蔵	R R R	H18.2.21
7	寝具の夏目	富沢	寝具販売	R R R	〃
8	渡辺カメラ	新城中町	カメラ・現像	R R	H18.3.17
9	ミドリヤ	緑が丘	食料品など	R R R	〃
10	沢田畳店	平井	畳製造販売	R R R	〃
11	（株）つくで手づくり村	市場	農産物販売など	R R R	H19.2.19
12	平田畳店	本郷	畳製造販売	R R R	〃
13	リオスオジマヤ電気	内金下	家電販売	R R	〃
14	（有）伊藤食料品店 ｽﾊﾟｰ長篠店	内金下	食料品など	R R R	〃
15	電化プラザマツシタ長篠店	内金上	家電販売	R R	〃
16	岡本屋酒店	本郷	酒類販売	R R R	〃
17	大林酒店	大野	酒類販売	R R R	H19.6.20
18	みどり写真館	大野	カメラ・現像	R R R	〃
19	かくたけ酒店	大野	酒類販売	R R	〃
20	高木ミシン電機ストア	大野	家電販売	R R	〃
21	au ショップ新城	片山	携帯電話販売	R R	〃



認定審査  
の様子



お店の取り組み  
（au ショップ新城）

## 生ごみ処理器等設置費補助金交付制度（環境課）

家庭から出る生ごみの減量化対策の一環として、コンポスト化容器または電気生ごみ処理機の設置に対し補助金交付事業を行っています。合併以降は補助限度額をコンポスト2,000円、電気式15,000円に統一しています。

### 【生ごみ処理器等設置費補助金交付実績】

年度	地区	設置基数		補助金総額	補助金限度額（1基）	
		コンポスト	電気式		コンポスト	電気式
H17 合併前	新城	10基	8台	98,500円	2,000円	10,000円
	鳳来	-	6台	87,085円	-	15,000円
	作手	2基	3台	66,000円	3,000円	20,000円
合併後	新城市	8基	10台	158,600円	2,000円	15,000円
H18	新城市	15基	30台	445,900円	2,000円	15,000円
H19	新城市	26基	19台	314,800円	2,000円	15,000円

## 公共施設の環境配慮型整備の推進

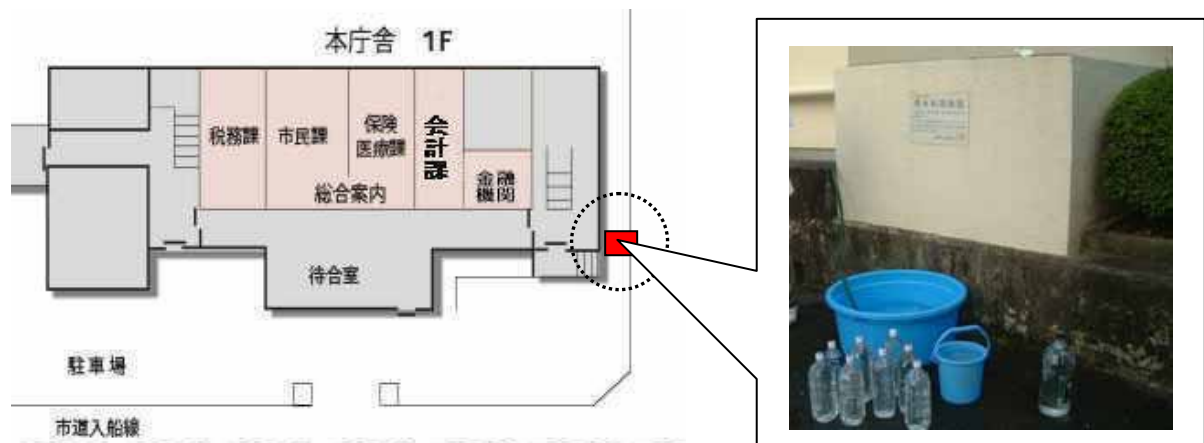
### 自然エネルギー等の利用（教育委員会庶務課）

東郷西小学校、新城中学校屋内運動場、八名幼稚園に太陽光発電設備を設置しました。校内使用電力の補助や非常時の電力としてだけでなく、環境への負荷低減等環境問題への考え方や発電表示パネルなどを使った環境教育への教材として利用しています。

### 雨水の利用（環境課・消防総務課）

市役所本庁舎クーリングタワーの設置跡地を利用し、約600リットルを貯水することができる雨水利用施設を設置しました。これにより、雨水を積極的に利用した様々な取り組みを展開しています。庁舎の緑のカーテンへの水やり、キャンドルナイトイベントなどに毎年利用しています。

平成19年度に完成した消防防災センターには、60トンの雨水をためることのできる消火用の貯水槽があり、主に訓練などに使われています。これまでの消防署では、防火水槽の水に水道水を利用していたこともあり、新しく完成した施設により環境に配慮した取り組みを推進しています。



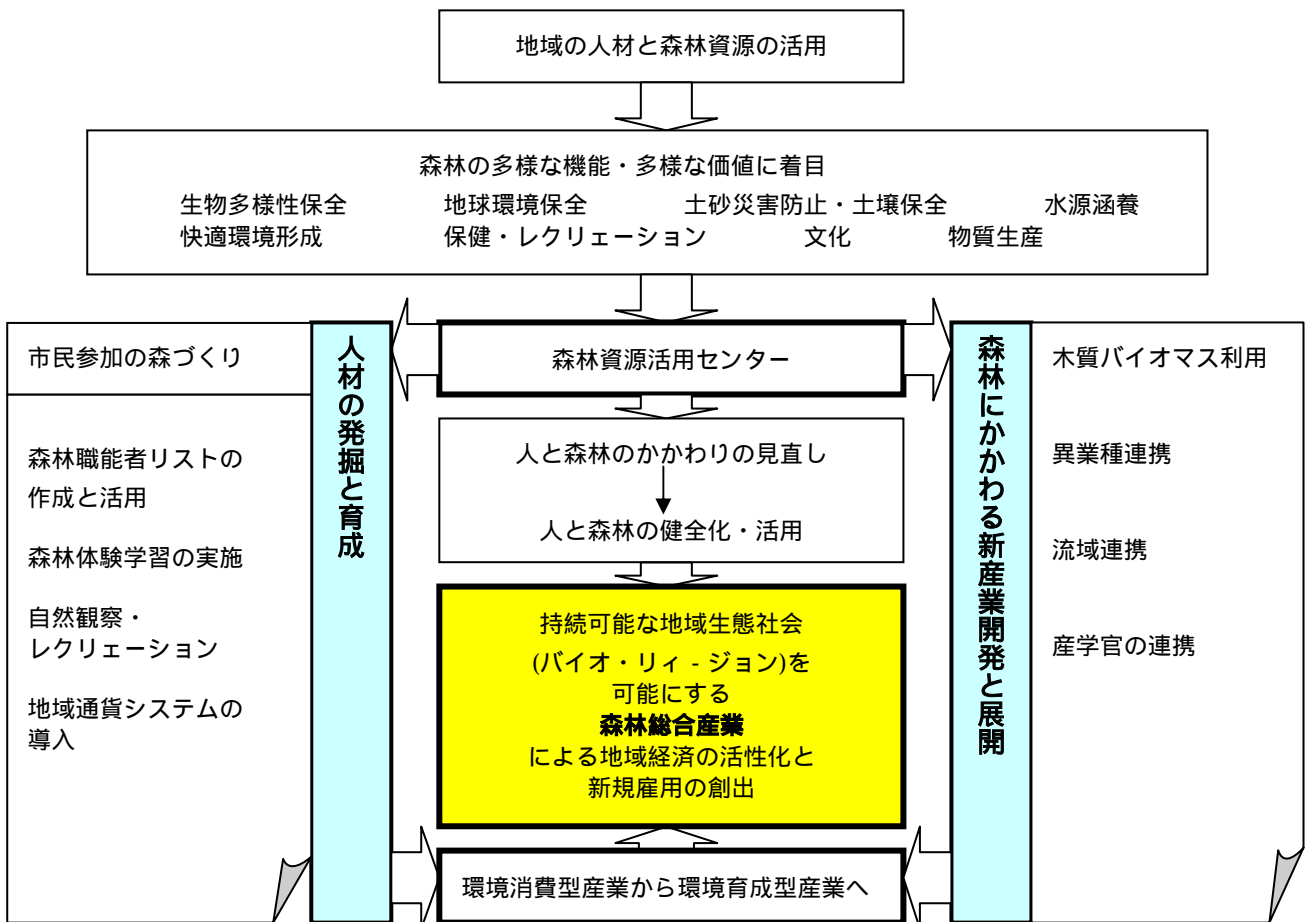
## 森林総合産業の創出（森林政策課）

平成 13 年度、旧新城市において木質バイオマス利用の取り組みが始まり、翌年「新城市地域新エネルギービジョン」を策定。平成 15 年度にビジョンの中心となる木質バイオマス利用の事業化計画調査を実施し調査報告書として取りまとめました。

これらの経緯を踏まえ、平成 16 年度に森林を環境面に配慮した複合的、総合的産業として確立させることを目標にした「森林総合産業の創出」が地域再生計画として認定されました。

その後、市町村合併後の新市においても継続されることとなり、それとリンクした「森と人をそだてる森林総合産業創出プロジェクト」が平成 18 年度に新たに認定されました。

### 「森林総合産業の創出」・概念図



～ 施策実施状況 ～

**キーワード 資源を大切にすまち**

**施策の目標 省エネルギー・省資源の推進**

省エネルギー・省資源型商品の開発と利用を促進するとともに、大型事業所から発生する廃熱の利用をはじめ各種未利用エネルギーの有効利用とエネルギー循環型のまちづくりを進めます。

**施策項目 省エネルギー型住宅環境・事業所環境の検討・整備**

事業名	区分	担当課	評価
市営住宅建設事業（開成住宅）	新規	都市計画課	

課題・問題点 環境配慮住宅にかかる建設コストが課題

施策の展開 住宅への太陽光発電システムの設置や地産地消となる三河材使用など、特色ある市営住宅の建設を進め、定住促進と地域活性化を図る。

**取り組み内容**

作手地区の人口減少対策として合併前から計画されていた事業ですが、新市における施策として、環境との共生、循環型社会の構築をめざし、環境へ配慮した住宅を建設しました。

開成住宅の主な特徴は、次のものです。

- 柱などに地元の三河材を使用
- 太陽光発電システムを設置
- 安全・安心なオール電化型住宅

太陽光発電システムの設置に併せてオール電化型住宅としたことで、火傷や火災の発生を抑えることにもつながり、安全・安心な住宅を提供することができました。



新たな課題 今後の展開 環境に配慮した市営住宅の建設には、太陽光発電システムの設置など、費用の増額が必須であり、建設コストの削減が課題である。

事業名	区分	担当課	評価
住宅用太陽光発電システム設置費補助	継続	環境課	

課題・問題点 国の補助が平成 17 年度途中でなくなった。現状の予算の範囲では、少数の方にしか設置費を補助できない。

施策の展開 多くの方に設置の補助ができるよう検討する。

**取り組み内容**

本市では、市民のクリーンエネルギー利用を積極的に支援することにより環境保全に対する意識の高揚を図るため、住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付事業を行っています。

予算の範囲内でより多くの設置者に補助金を交付できるよう、補助金額を上限 10 万円に変更しました。（2.5 万円に太陽電池の最大出力値（kW 表示・小数点第 2 位未満を四捨五入）を乗じた額）

**【住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付実績】**

年度	申込件数	総合計出力	補助金額
H16	5 件	21.32 kW	1,920,000 円
H17	5 件	23.84 kW	2,000,000 円
H18	18 件	61.36 kW	2,852,000 円
H19	20 件	66.70 kW	1,642,000 円



新たな課題 今後の展開 住宅用太陽光発電システムの普及が高まり、件数の増加につながっている。家庭での温暖化対策促進のためにも、継続していく。

## 施策の目標 水資源の有効利用

大切な資源である水の一層の有効利用を図り、下流域に良質な水を送るよう努めます。そのため、公共施設をはじめとする雨水の有効利用を推進します。

### 施策項目 主要施設における雨水利用の推進

事業名	区分	担当課	評価
打ち水作戦	新規	環境課	
課題・問題点	市民の家庭生活において、雨水利用の促進など節水対策を図ることが必要。		
施策の展開	本庁舎に雨水の貯水槽を設置し、有効利用を実践することにより、市民にPRしていく。市の花火大会にあわせ市道に打ち水を実施。		

#### 取り組み内容

平成 19 年 8 月 13 日、新城納涼花火大会に向かう歩行者に少しでも涼しさを感じてもらおうと、打ち水作戦を行いました。

打ち水は、市役所本庁舎前から新城幼稚園までの約 200m の区間を行い、本庁舎横に設置した雨水タンクの雨水約 400 リットルを使用しました。また、前日にチラシを配り参加を呼びかけたところ、通りに住む市民の皆さんや新城幼稚園の先生方が積極的にご協力くださいました。

打ち水実施前（午後 4 時ごろ）に 32 あった気温が、打ち水終了後には約 1 下がる結果となりました。



市民、幼稚園の先生方とともに楽しく実施しました。

新たな課題 今後の展開	実施時期、場所、方法などを計画的に検討していくことが必要。 本庁舎の雨水利用でのPRと併せ、引き続き雨水利用を推進していく。
----------------	---

## 施策の目標 ごみ減量・資源リサイクルの推進

ごみ減量運動や資源リサイクル運動を推進するとともに、生産・流通・販売・消費の各段階の連携強化により資源を大切にすまの仕組みを構築します。

### 施策項目 ごみ減量運動の一層の推進

事業名	区分	担当課	評価
しんしろエコショップ認定制度	継続	環境課	
課題・問題点	認定販売店の申請が少ない。販売店にとってのメリットが少ない。		
施策の展開	PRの方法や制度の見直しを含め、いかに認定販売店を増やすか検討していく。		

#### 取り組み内容

平成 19 年度は、新城・鳳来地区での推進を図り、新城地区 1 店舗、鳳来地区 4 店舗の認定することができました。

#### 【しんしろエコショップ認定状況】(平成 19 年度)

17 大林酒店	認定の種類 R R R
取り組みの内容	
リデュース	・包装紙などの簡素化の呼びかけ...配達の際、商品のみ渡す。
リユース	・生きびんの回収... 御用聞きで回収する場合と店に持ち込まれたものを豊橋市の業者に引渡し。 ・ダンボールの再使用...配達などの入れ物として何度も使用している。
リサイクル	・店頭に分別ボックスを設置... アルミ、スチール、ペットボトル、びんを回収。卸業者がほぼ毎日回収。 ・高齢者の代わりに排出...配達時に回収したびんなどを洗い、資源回収に排出。

<b>18 みどり写真館</b>	<b>認定の種類 R R R</b>
------------------	--------------------

取り組みの内容	
リデュース	・レジ袋の削減...包装、袋などの必要の有無を確認している。
リユース	・カメラの修理を推奨... できるだけ修理していただくため、費用、日数をメーカーなどに確認し、お客様の判断材料を提供している。
リサイクル	・使い捨てカメラのリサイクル... メーカーが再利用するため、ダンボール箱につめて発送している。 ・フィルムケースのリサイクル... 保育園、学校、手芸を行う方たちなどに配布している。

<b>19 かくたけ酒店</b>	<b>認定の種類 R R</b>
------------------	------------------

取り組みの内容	
リユース	・生きびんの回収... 御用聞きで回収する場合と店に持ち込まれたものを豊橋市の業者に引渡し。 ・ダンボールの再使用... 配達運搬などに何度も使用している。
リサイクル	・リユースできないびんのリサイクル... 住民に代わり、地区のリサイクルに排出している。

<b>20 高木ミシン電機ストア</b>	<b>認定の種類 R R</b>
----------------------	------------------

取り組みの内容	
リユース	・販売した商品の修理... 方法としては、その場で修理する。 店に持ち帰り修理する。 メーカーに依頼する。など
リサイクル	・電球、蛍光灯のリサイクル回収... お年寄りに代わり地区リサイクルに排出している。 ・家電4品目の収集運搬... 指定取引場所までの運搬を行っている。 ・その他の家電品のリサイクル... 店で分別した後、豊川市の業者に運搬している。

<b>21 au ショップ新城</b>	<b>認定の種類 R R</b>
---------------------	------------------

取り組みの内容	
リユース	・待合スペースに不用のぬいぐるみや絵本などを使用... 従業員や隣接の書店から不用なぬいぐるみや本などをもらい、商談中のお客様のお子さんに遊んでもらうための待合スペースに設置している。
リサイクル	・使用済み携帯電話のリサイクル... 専用の回収箱に入れて配送しており、他社製品も対象（無料）としている。 また、情報漏えいを防ぐため基盤に穴を開けて壊している。



新たな課題  
今後の展開

商工会に働きかけるなど、事業所からのごみ減量につながるようPRするとともに、さらにエコショップ認定店を増やしていく。

事業名	区分	担当課	評価
レジ袋有料化に向けての調査	新規	環境課	

課題・問題点等	レジ袋の使用が生活に定着してしまっている。意識の改善が必要。
施策の展開	近隣市町村と連携して、レジ袋の有料化を含めその削減に向けた取り組みを検討していく。

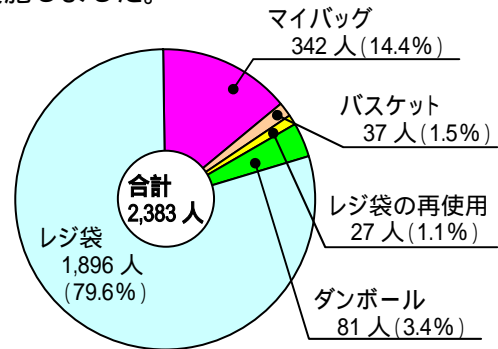
**取り組み内容**

県内でレジ袋の有料化を始めている他市の取り組み状況を調査したり、市内のスーパーマーケットやドラッグストアなどの店舗でマイバッグの持参率調査を実施しました。

**【持参率調査の結果】**

市内5店舗において調査を実施した結果、合計2,383人のうち、約8割の方が買い物のときにレジ袋をもらっていて、レジ袋を控えている方は2割になりました。

- ・マイバッグ...マイバッグを持参している人
- ・バスケット...購入したレジカゴを持参している人
- ・レジ袋の再使用...以前もらったものを持参している人
- ・ダンボール箱...お店のダンボールを使用している人
- ・レジ袋...レジで新しいレジ袋をもらっている人



今後の展開 市民意見やお店の理解を得ながら、レジ袋の有料化を検討していく。

**施策項目 資源リサイクル運動の推進と団体などの支援**

事業名	区分	担当課	評価
廃棄物減量化・資源再利用推進	継続	環境課	

課題・問題点	市町村合併に伴い分別品目を統一したが、排出方法や収集処理は、旧市町村の業務を継続しているため、排出方法の統一や業務の集約を図る必要がある。
施策の展開	収集業務の拠点となる施設の建設を進めるとともに、完成後において効率的な収集処理を行うため、業務の集約化を検討する。

**取り組み内容**

旧市町村域別に行っている収集処理業務について、平成20年度から集約するための資源集積センターを建設しました。また、集約化に伴い作手地区の資源回収日を変更するため、地区説明会を開催し、分別方法や回収方法の周知徹底を進めました。市では、自主的な資源回収活動を行う行政区等に対して報奨金を交付するなどの支援を行っています。

市では、地区の資源回収で集められた資源物を直営及び委託により収集し、品目ごとに業者に再生処理を委託しています。引き渡しの際に有価物となるものは、売却することで市の収入とし、処理委託については、資源物の市況を把握し有効かつ適正な引渡しに努めています。

**【資源回収に係る歳入歳出の状況】(平成19年度)**

歳入				歳出	
項目	金額	項目	金額		金額
新聞	5,018,728円	その他(モーター類・銅線)	372,300円	空き瓶処理委託	2,879,536円
雑誌	1,157,725円			ペットボトル・白色トレイ	5,697,059円
ダンボール	1,424,790円	生きびん	10,704円	収集処理委託	
牛乳パック	44,308円	ペットボトル	1,508,672円	古紙処理委託	858,772円
紙製容器包装	137,550円			資源物収集委託	26,875,261円
スチール	4,613,953円			処分場分別作業委託	958,720円
アルミ	2,877,925円			資源回収団体報奨金	5,048,200円
計			17,166,655円	計	42,317,548円

新たな課題 今後の展開 分別品目の拡充に努め、分別排出の徹底を周知するなど、ごみ減量・資源再利用を推進する。また、資源集積センターを活用し資源物の有効な処理を進める。



施策項目 資源リサイクルに関する情報の収集および普及啓発

事業名	区分	担当課	評価
廃棄物減量化・資源再利用推進	継続	環境課	

課題・問題点	合併後、分別品目を統一したが、旧来の排出方法等が根付いている地域があることから、市として統一した排出方法を市民に周知する必要がある。
施策の展開	分別表や分別ガイドの全世帯配布、地区の資源回収活動に職員を派遣し、分別指導を実施、各行政区に生活環境委員を配置等により、市民の分別排出の向上を図る。

取り組み内容

分別表・分別ガイドの全世帯配布

市の分別方法や排出方法を示した分別表を作成し、全世帯に配布しています。また、分別表を補完するものとして、分別ガイドを作成し配布しています。あわせて、外国人向けにポルトガル語版、英語版を作成し配布しています。

分別説明会の実施

各地区の資源回収会場では、区民が参加し自主的な回収活動を行っています。この資源回収に職員を派遣し分別指導を行うことで、分別排出の向上を図っています。

生活環境委員の配置

各行政区に生活環境委員を配置し、地域の環境・廃棄物問題の改善に協力を求めています。中でも資源回収については、市民からの問い合わせが多いことから、地区の窓口として同委員と情報提供等を行い、課題の改善等に努めています。

新たな課題 今後の展開	市民に理解しやすい分別表の作成に心がけ、分別の徹底を図る。特に高齢化が進む地域が多いことから、高齢者に分かりやすく、排出しやすい方法を検討する必要がある。
----------------	---